

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52431	児童文化 Literature for Children	入口 愛・江良 友子		専門	1	選択	2年後期
科目の概要							
児童文化財をとおして子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識と技術を修得し、実践力を養うことを目的とする。絵本の種類、文章や絵、描写手法、構成など技法を理解するとともに、子どもの発達年齢に適した絵本および教材を選ぶ力を身に付け理論と技術を修得することで実践力を養う。これらの内容はディプロマ・ポリシー③④に相当する。							
学修内容				到達目標			
① 児童文化財について概観する。 ② さまざまな絵本の特性を理解する。 ③ 子どもの発達に適した教材を考え、制作することができる。				① 子どもの発達段階を理解し児童文化財について説明することができる。(DP③) ② 絵本の特性を理解し子どもに合った絵本を選択できる。(DP③) ③ 子どもの言葉の発達段階をふまえ、教材を制作し、実践的な活動を考えることができる。(DP③④)			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	児童文化財の良さを伝えるために、授業の中での発信や演習など積極的に関わり、技術修得のために自ら練習をすることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	多くの絵本を読み考察することで、思い込みや憶測で判断するのではなく、学んだ知識や情報を活かし、客観的に発達年齢にあった絵本を選ぶことができる。					
	計画力	課題に取り組む際には、様々な情報源の中から必要な情報を活用し期限内に提出できる。					
	創造力	教材を作りあげる力、人前で発表することができる力、感動を伝えることができる力など身に付けることができる。					
チームで働く力	発信力	聞き手に伝わる声の大きさ、話す速さ、内容が整理されている。					
	傾聴力	相手の意見を共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合はフォローレポート課題を行う。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：「認定絵本士養成講座」中央法規出版 1,800円 参考文献：授業の中で適宜紹介する。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：保育内容（言葉）、児童サービス論 資格との関連：幼稚園教諭、保育士、認定絵本土、司書							
学修上の助言				受講生とのルール			
・言葉に対する感覚を豊かにするよう、普段の生活から言葉を意識すること。 ・日頃より絵本や童話、紙芝居などの児童文化財に触れるようにすること。				・私語や勝手な言動をする学生は、授業を受ける権利はないとする。 ・レポート・教材制作・授業態度等によって評価する。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
			②				
			③				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	50	①	✓		認定絵本士養成講座に関する内容をリアクションペーパーにまとめたものを評価する。いずれも各回の目的を理解しているかどうかという観点から評価をする（各5点）。
				②	✓		
③				✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	✓		手袋シアター（40点）を評価する。手袋シアターは子どもの言葉を豊かにするという観点から評価をする。	
			②	✓			
	③						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<主体性・実行力> ・児童文化財の良さを伝えるために、授業中での発言や演習など積極的に関わることができ、技術修得のために自ら練習をすることができる。 ・失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むことができる。 <課題発見力・計画力・創造力> ・多くの児童文化財に触れ、学んだ知識や情報を活かし客観的に発達年齢にあった児童文化財を選ぶことができる。 <発信力・傾聴力・規律性> ・聞き手にとってわかりやすい発表（声の大きさ・話す速さ・内容が整理されている）ができる。 ・相手の話す意見に共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べるができる。		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レベルS（秀）は、学修内容のすべてにおいて十分な理解と主体的に課題を発見、解決へと取り組む姿勢がみられ、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価において、非常に優れた評価を得ることを基準とする。 レベルA（優）は、学修内容すべてにおいて十分な理解ができており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が優れた評価であることが基準となる。	レベルB（良）は、学修内容が理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準以上を満たしており、かつ到達レベルA（優）までの評価が基準となる。 レベルC（可）は、学修内容がおおむね理解できており、レポート、教材制作、社会人基礎力の総合評価が一定の基準を満たしている評価であることが基準となる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 「児童文化財」について学習する。児童文化の歴史や保育における児童文化の意義について学ぶ。	講義 リアクションペーパー (google form)を作成する	授業内容・評価等についておおむね理解することができる。 児童文化財の活用方法についておおむね理解することができる。	(予習) シラバスを確認しておく。 (復習) 児童文化財の意義についてまとめる。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	【絵本各論④】 情報メディアとしての絵本の特性を理解する。絵本と著作権の関係について学ぶ。電子書籍と子どもの脳との関連について学ぶ。	講義 グループワーク リアクションペーパー (google form)を作成する	情報メディアとしての絵本の特性についておおむね理解することができる。 絵本と著作権との関係についておおむね理解することができる。 電子書籍と子どもの脳活動についておおむね理解することができる。	(予習) 絵本の著作権について調べておく。 (復習) 情報メディアとしての絵本についてまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
3	【さまざまなジャンルの絵本①(物語の絵本)】 物語を内容とした絵本の特性について学ぶ。絵本における絵と言葉で語る技法を学ぶ。	講義 グループワーク リアクションペーパー (google form)を作成する	物語を内容とした絵本の特性についておおむね理解することができる。 絵本における絵と言葉で語る技法についておおむね理解することができる。	(予習) 物語絵本を選び、特性について考える。 (復習) 物語絵本についてまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
4	【さまざまなジャンルの絵本②(昔話・童話を基にした絵本)】 昔話、童話を題材とした絵本の特性について学ぶ。昔話、童話を題材にした絵本における再話や絵本の在り方について考える。	講義 グループワーク リアクションペーパー (google form)を作成する	昔話、童話を題材にした絵本の特性について、おおむね理解することができる。 昔話、童話を題材にした絵本における再話や絵本の質の在り方を多少なりとも考えることができる。	(予習) 昔話や童話を題材とした絵本を選んでおく。 (復習) 同じ題材で2冊絵本を探し、比較検討後にまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
5	【さまざまなジャンルの絵本③】自然科学・社会科学に関する絵本の特性について学ぶ。科学絵本等の活用方法について学ぶ。	講義 グループワーク リアクションペーパー (google form)を作成する	科学絵本等の特性について、おおむね理解することができる。 科学絵本等の活用方法について、おおむね理解することができる。	(予習) 科学絵本等を選び、特徴についてまとめる。 (復習) 保育に活用できる科学絵本を選び、活用方法を考えまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
6	【絵本を紹介する技術②】 絵本の内容、特質を客観的に捉えることを学ぶ。書評・紹介文の書き方について学ぶ。	講義 グループワーク リアクションペーパー (google form)を作成する	絵本の内容、特質について、比較的客観的に捉えることができる。 書評・紹介文の書き方について、おおむね理解することができる。	(予習) 好きな絵本を紹介する文を書いておく。 (復習) 絵本を1冊選び、書評もしくは紹介文を書く。	90	主体性 課題発見力 傾聴力
7	【絵本の世界を広げる技術①(絵本を探す技術)】 絵本を探す目的を理解し、様々な絵本の情報源について学ぶ。図書館のレファレンスサービスについて事例を通して学び、実践する。	講義 質疑応答 グループディスカッション PC・タブレットでOPAC検索を行うことを含む。	絵本を探す多様な手段等について理解することができる。 絵本検索にかかる各手段の活用方法を身に付けることができる。	(復習) 公共図書館のOPAC検索を活用し絵本を見つけレポートにまとめる。	90	主体性 規律性
8	【絵本を紹介する技術①】 ビブリオバトルの目的及び方法について学ぶ。本を魅力的に伝える基礎的技術を修得するためにグループでビブリオバトルを行う。	講義 質疑応答 グループワーク	ビブリオバトルの目的を理解して本の選書ができる。 ビブリオバトルを実践して本の魅力を伝えることができる。	(予習) ビブリオバトルのお題は「私が好きな絵本」です。当日使用する絵本を選んで持参すること。 (復習) コメント用紙を完成させる。	90	実行力 創造力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	【絵本と出会う③図書館等での出会い】公共図書館で行う児童サービスについて学ぶ。事例を通して、地域の読書推進活動での絵本をめぐる活動の意義や関連事業の可能性について考察する。	講義 質疑応答 ゲストスピーカー	公共図書館の児童サービスについておおむね理解することができる。地域の読書推進活動における絵本をめぐる活動の展開についておおむね理解することができる。	(予習) 公共図書館の児童向けサービスについて調べておく。 (復習) 自分の住んでいる地域の読書推進活動の取り組みをまとめる。	90	主体性 傾聴力 規律性
10	【絵本と出会う④書店での出会い】書店における絵本の売り場づくりの工夫について学ぶ。絵本が完成し、流通するまでの流れについて学ぶ。	講義 質疑応答 ゲストスピーカー	書店における絵本の売り場づくりの工夫及び絵本の流通についておおむね理解することができる。	(予習) 地域の書店の絵本コーナーについて、工夫点等を調べておく。 (復習) 本科目で学んだことをまとめる。	90	主体性 傾聴力 規律性
11	子どもの言葉を豊かにする手袋シアターについて学ぶ。	講義 制作(企画) リアクションペーパー (google form)を作成する	手袋シアターについて、おおむね理解することができる。子どもの言葉を豊かにするパネルシアターについて、多少なりとも企画することができる。	(予習) 手袋シアターについて調べておく。 (復習) 企画したパネルシアターを確認する。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力
12	子どもの言葉を豊かにする手袋シアターを制作する	講義 制作 リアクションペーパー (google form)を作成する	手袋シアターを多少なりともつくることができる。	(予習) 制作する手袋シアターについて、イメージしておく。 (復習) 時間内に制作できなかったパーツを制作する。	90	実行力 創造力 発信力 傾聴力
13	制作した手袋シアターを子どもの前で実践することをイメージしながら練習する	講義 練習 リアクションペーパー (google form)を作成する	制作した手袋シアターを練習することができる。	(予習) 手袋シアターを完成させておく。 (復習) 手袋シアターの練習をする。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
14	制作した手袋シアターを発表する	講義 発表 リアクションペーパー (google form)を作成する	発表を見て、聞いている人たちの前で、発表することができる。	(予習) 手袋シアターを練習しておく。 (復習) 身近な人たちの前で手袋シアターを発表する。	90	主体性 発信力 傾聴力
15	【子どもの心をとらえるもの】子どもが興味や関心を抱く児童文化財の特徴を知る。絵本以外の子どもの心をとらえる様々なメディアについて知り、子どもへの影響についても考える。	オンデマンド 講義 リアクションペーパー (google form)を作成する	子どもが興味関心を抱くものについて、おおむね理解することができる。子どもの心をひきつける表現方法についておおむね理解することができる。	(予習) さまざまな絵本表現について確認しておく。 (復習) さまざまな絵本表現について、適切な活用方法をまとめる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力